

## 深野康彦の 先取り経済NEWS！！

編集・発行 株式会社 アサヒ・ビジネスセンター 2018年10月10日

## 今月のトピックス 「看過できない特殊詐欺」

**特**殊詐欺の手口が巧妙化していることから被害が絶えません。全国的には減少化しているといわれるが、都内においては逆に増えているのです。警視庁の統計によれば、2018年1月～8月までの都内の特殊詐欺被害状況は2678件。金額にして約60億4000万円、1件あたりの被害額平均は238万円と多額の金額になる。空き巣による被害額平均が38万円ということを考えれば、特殊詐欺による被害額の大きさがわかるというものだ。都内だけでこの被害額、全国では約394億円（平成29年）にのぼる。ちなみに2017年同期と都内だけを比較すれば、件数で561件、金額で約11億8000万円増加している。私事で恐縮だが、筆者の実家にも「オレオレ詐欺」の電話が、筆者の名前をかたりかかってきたことが数回ある。「特殊詐欺から資産を守るためのイベント」等に仕事でかかわらせていただくことがあるが、万一特殊詐欺に引っかかってしまった場合、取られたお金は戻るとはほとんどないということだ。ここで注意喚起を促したいのが現役世代の人達。年齢で言えば50歳台が中心になるだろうか。ストレートに言えば（グスな言い方になるが）、この年代になると万一両親が亡くなった場合、相続税はかかるのか否かを考えると同時に、遺産をどのくらいもらえるのか皮算用する人もいるはず。皮算用するのは人の勝手だが、その遺産が特殊詐欺に取られてしまったらどう思われるだろうか。自分の両親が特殊詐欺に合うなんて考えられないと思われるかもしれないが、筆者の周りでも（仕事関係含む）実家の親に特殊詐欺の電話がかかってきた、郵送物が届いた、メールが送られてきた等々の話はかなりの数を見聞きしているため、いつ何時自分の親が特殊詐欺の被害に合わないとも限らないのだ。

ここで皆さんにお願いしたい。筆者は「特殊詐欺から資産を守るイベント」に関する仕事にかかわることがあると先に述べたが、そのイベントに参加されるのは高齢者が中心。平日に行われるため参加できないのは致し方ないが、この記事を読まれた方は是非両親に定期的に電話を行うなどして、両親が特殊詐欺にあわないよう守ってもらいたい。高齢者への啓蒙では対処できることが限られているため、これからは子どもや孫が率先して行動しないと特殊詐欺が大幅に減少することはないと思われてならないからだ。極論すれば、両親との連絡（関係）を密にしておかないと、将来もらえるであろう遺産（資産）がなくなる可能性も否定できないのである。